LOUIS LEVI 教授のご退任にあたって

小 林 祐 子

Louis Levi 教授は 1981 年 4 月に本学に就任，11 年にわたって牟礼キャンパスの英語教育に尽くされ，本年 3 月末に退職，故国イギリスに帰られた．

先生をお迎えするようになったのは幸運な偶然の重なりによる．私の所属していた短期大学部の英語科で外国人教員を探していたとき，ふと手にした大学英語教育学会 (JACET) の会報に先生の求職広告が載っていたのである．当時先生はイスラエルの大学で教えておられ，滞在年数も 10 年となり，あとで知ったことだが，持ち前の wanderlust が頭をもたげ始めていた時であった．先生の経歴は書面の上ではまことに申し分なく，なんとか先生を直接知る人から話を聞こうと手を尽くしているところに，かつて教鞭をとられた福島の桜の聖母短期大学長からの推薦状が届いた．わが大学に戻って下さるというなら喜んでお迎えしたい先生，能力のある学生，やる気のある学生に尊敬され信頼された先生であったと，教育への熱意を高く評価した文面だった．本学に赴任して来られた先生はまさにそのとおりの方であった．

先生は 1946 年にケンブリッジ大学を卒業されたあと，クインズ大学で英語教員の専門資格を取得され，ただちに Colonial Education Service という旧大英帝国ならではの政府機関に入られた．それから 12 年間，英語教育視学官として，ナイジェリア，シンガポールの初等・中等教育の英語教育の指導にあたり，英語教員養成制度の改善，カリキュラムの強化，教材作成などに助言を与えられた．1961 年に政府の仕事を退き，同年ケンブリッジ大学で MA を得たのちは，大学における英語教育に取り組まれ，マレーシア大学を皮切りに，桜の聖母短期大学，イスラエルのヘブルー大学，同じくネゲブ大学，ディビット・イエリン教育大学，パプアニューギニアの聖心教員養成大学など世界各地で教えられた．

Levi 先生は，母語である英語に強烈な愛情と誇りをもっておられた．それだけにこれを汚されることは先生にとって我慢ならないことであった．母校のケンブリッジ大学のセント・キャサリンズ・カレッジから送られてくる同窓会会報を読んでは，最近その英語がとみにひどくなったと嘆き，ついに苦情の手紙を編者に送られたほどである．教育のある人間の使う英語がどうあらねばならないかということに関して先生には妥協がなかった．若い世代の英米人の文章で先生のお眼鏡に適うものはめったになく，いつも atrocious を連発しておられた．

その一方教育者である先生は，力量のある教師とやる気のある学生とが出会えば，外国人であろうと立派な英語は獲得できるという不動の信念をもっておられた．そのため実に熱心に，しかも厳しく学生を指導された．英国の伝統的なグラマースクール

のマスターを思わせる威厳をもって，専門教育に先立つ基礎教育には特に力を注がれ，土台のないところに家は建たないと，先生の認める標準に学生たちが達するまで容赦なく再履修，再再履修を命じられた．先生には「ほどほど」というところがない．常に「徹底的」であり続けられた．そして他の誰にでもない，まずご自身に対して「徹底的」に厳しい方であった．

学習者に対し納得のいく説明をする能力のない教師は教師ではないと，先生は母語に対する native intuition に安住することを拒まれた．精力的に英語の実態を追い続け，これを分析的にとらえることに徹しておられた．その恩恵を受けたのは学生だけではない．教師たちも辞書や参考文献に説明されていない語法に出会うとき，先生のところにもっていけば，必ず明快な即答が得られたし，調べさせてくれと言われたときは，2，3日のうちに詳細な解説を手にすることができた．先生のこうした分析力の冴えは本学の『論集』に発表された論文の数々に見ることができる．わけても話しことばと書きことばの文構造の相違を分析した1982年（3月）の "English Written and Spoken"，従来のセンテンス・グラマーではとらえきれない過去完了の用法を談話文法の枠で説明づけた1982年（9月）の "A Narrative Function of the Past Perfect"，接続詞の "if" の用法を分析・分類してみせた1983年の "Talking of 'if'"，などは各言語現象に対しより説得的な説明の道を切り開いたものとして高く評価される．

先生はよき教師であることを第一としておられた．先生にとっての学問的研究は，腕のよい医者が豊富な臨床体験を体系化するのに病理学の研究を怠らないのと似たような意味をもっていた．いつ読まれたのかと思うほど驚く量の研究書を読みこなし，教授経験と常に擦り合わせておられた．そしてまた患者の症状を見て処方箋をだす医者のように，学生の英語力を診断し，それにみあう教材を自らの手で作り出すことを喜びとしておられた．今でも先生の作られた教材 "Junko's Diary" を大事にとっている短大の卒業生は多いのではないだろうか．

Levi 先生は文学，音楽，演劇を深く愛された．映画はマニアに近く，無声映画時代から現在までビデオ化された代表作はすべて戸棚に収めておられた．写真の腕前は玄人はだしで，イギリスで休暇中に写された田園風景などはワーズワスの詩を思わせる美しさがあった．いまようやく半世紀近く留守にしていた故国に戻られた．これからは海外の生活のなかで思いを募らせたイギリスを心行くまで楽しまれることだろう．ご健勝を祈る．